

区政会議に関するアンケート集計結果（福島区）

1. 福島区区政会議は、現在、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされているか。

選択肢	回答数	回答率	有効回答数	26
ア. 思う	2	8%		
イ. やや思う	14	54%	肯定的意見 割合	62%
ウ. あまり思わない	8	31%		
エ. 思わない	2	8%		

2. 3. 区政会議のより活発な意見交換に向けた課題と、改善のための取組や工夫

有効回答数	26
-------	----

選択肢(課題)	回答数	回答率 (複数回答可のため、割合の総合計は100%を超えます。)	取組・工夫(改善策)
ア 会議前に、十分資料を読み込む時間がない。	11	42%	・会議資料の事前送付は続けて欲しいと思います。
イ 資料が多すぎる、または分かりにくい。	10	38%	
ウ 意見を述べるために前提となる区の現状や行政のしくみ等についての知識が不足している。	15	58%	・地区から選ばれた委員ですが、あまり活動していませんので、頂いた資料を理解するのが精一杯で発言もできません。知識や情報を得られる機会を作ってほしいです。 ・区政会議の成り立ちや、目的・意義などを理解してもらおう。 ・区政についても、具体的な内容(概要)を、説明会あるいは文書で知らせる。(特に市民生活に直結するものなど) ・区政会議に参加するようになって、私自身興味が…なかなか理解しがたいことも多々あり、また、価値観の多様化と自身の多忙さに取組が難しい。もっと一つのことについて研究し、学習が必要だと思います。 ・現状の把握が不十分のため、お互いの議論がかみ合わない。

エ 会議中に発言できる機会や時間が少ない。		4	15%	・会議開催前に、事前に送った委員よりの意見票を提出していただくとよいと思います。 ・特定の連合・地域に関わる問題点については時間的に余裕があれば地元で調査・検討してもらって結果を発言・質問してもらってはどうか。 ・区政会議で各資料等を元に発言や質問を促されても、非常に難しい部分があると思う。事前に区役所側と質問の打合せ等をしておく機会があれば、気軽に発言も出来るだろうし、区役所側も突然の質問であたふたしなくても済むのではないのでしょうか？ ・各地区で区政会議への出席するための事前会議等を開催して、個人の意見もありますが、連合・地活で話し合いしてもらおう。
オ 特定の人だけが発言している。		1	4%	・公募委員の比率を50%以上にすべき。
カ 意見交換を行いやすい配席になっていない。		2	8%	
キ 区役所側の説明が長く、意見交換をする時間が短い。		8	31%	
ク 区政会議の開催回数が少ない。		8	31%	・公式以外にも非公式の集まりも実行する必要がある。
ケ 意見を述べても、区役所側から明確な回答が期待できない。		7	27%	
コ 意見を述べても、それがどう取り扱われているかが分かりにくく、区政に参画しているという実感が持てない。		9	35%	・問題点を決定しなくてもいいが、参考のため賛否を取ってみる。
サ 実質的な議論が部会で行われており、本会議ではその報告が中心となるため、他の部会の議題について意見を述べづらい。		3	12%	・部会の最後に他部会の内容を聞く場や意見を述べる場を設け、他部会開催時にその意見も紹介する。
シ その他	議題のテーマがしぼられていない。	2	8%	・テーマごとの小会議を開催し(年3~4回)、担当委員を決めず、関心のあるテーマに参加して、意見を述べられるようにする。 ・個別具体的な案件については話すことができるが、全体となると難しいのでは。 ・議題が多く、質問・要望が出にくいように思いました。会議の中で、何をどこまで決めたいのかを提示されると、その場の目標ができるのではないのでしょうか。 ・議題の範囲が広いため、意見が出にくいように感じます。ある程度範囲を区切り、まためざす姿と比較対象があれば、現状との差について意見や課題が出るかもしれません。
	第三者による評価が必要。			

4. 区政会議において、意見や要望、評価について、適切にフィードバックがおこなわれているか。

選択肢	回答数	回答率	有効回答数	22
ア. 思う	2	9%		
イ. やや思う	11	50%	肯定的意見 割合	59%
ウ. あまり思わない	8	36%		
エ. 思わない	1	5%		

5. その他意見等

・子育て世代等、現実の問題に直面している年代等の委員がもう少し多くても良いのではないか。各地区からの選定の見直し等をして良いのではないのでしょうか。

・区政会議に出席された委員さんには、時間がかかりますが、簡単に日頃思うこと、願うことを話していただければ良いと思います。

・前回の資料は読みやすかった。

・行政や区民全体として取り扱うには適当でない事柄については、長々と議論しなくても良くなるような工夫をしてほしい。

・委員としての心構えや、区政会議で扱える問題などについて説明をしておいた方が良い。

・地域でいろいろな活動をしている人が集っている会議で、挙手では意見は出なくても、順番にすると皆さんいろいろな意見を出される。終了時間を20時とせず、20時30分にして、出席した人は必ず意見を言うというようにすると良い。また、PTAや大学生・高校生などの参加も欲しい。

・理想と現実はとても大変です。ボランティアで行動するのは限界があります。

・多くの資料を提示されても、その場ではなかなか難しい。

・あと数回余裕をもって論議する場が必要なのでは。

・部会回数を多くして現実に沿った各連合町会の悩み等を出して、他連合等の状況を参考にして取り入れ、各委員から率直な意見を出してもらえればと思います。

・役所の説明時間が長く、話し合う時間が少ない。開催時間の検討。

・予算の金額でどれ位のことが達成できるのか解りにくかった。

・異見がないので意見がない。以下同じ。

区政会議に関するアンケート集計結果（福島区区政会議 市民協働部会）

1. 福島区区政会議 市民協働部会は、現在、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされているか。

選択肢	回答数	回答率	有効回答数	13
ア. 思う	0	0%		
イ. やや思う	7	54%	肯定的意見 割合	54%
ウ. あまり思わない	5	38%		
エ. 思わない	1	8%		

2. 3. 区政会議のより活発な意見交換に向けた課題と、改善のための取組や工夫

有効回答数	14
-------	----

選択肢（課題）	回答数	回答率 （複数回答可のため、割合の総合計は100%を超えます。）	取組・工夫（改善策）
ア 会議前に、十分資料を読み込む時間がない。	3	21%	・会議資料の事前送付は続けてほしいと思います。
イ 資料が多すぎる、または分かりにくい。	5	36%	
ウ 意見を述べるために前提となる区の現状や行政のしくみ等についての知識が不足している。	8	57%	
エ 会議中に発言できる機会や時間が少ない。	3	21%	・会議開催前に、事前に送った委員よりの意見票を提出していただく。
オ 特定の人だけが発言している。	1	7%	
カ 意見交換を行いやすい配席になっていない。	1	7%	
キ 区役所側の説明が長く、意見交換をする時間が短い。	5	36%	
ク 区政会議の開催回数が少ない。	8	57%	・部会においては回数を多くして各議題を詰めて議論しても良いのではないかと思います。
ケ 意見を述べても、区役所側から明確な回答が期待できない。	2	14%	

コ 意見を述べても、それがどう取り扱われているかが分かりにくく、区政に参画しているという実感が持てない。		4	29%	
サ その他	議題を絞り込み、徹底的に意見を出し合えば。	1	7%	・部会ではなく、テーマごとの小会議を開催(年3～4回)して、出席者も担当を決めるのではなく(座長となる人だけを決める)、関心のある人は出席して、意見を述べられるようにする。 ・テーマが広すぎる。もう少し絞り込む必要がある。

4. 区政会議において、意見や要望、評価について、適切にフィードバックがおこなわれているか。

選択肢	回答数	回答率	有効回答数	10
ア. 思う	0	0%		
イ. やや思う	6	60%	肯定的意見割合	60%
ウ. あまり思わない	3	30%		
エ. 思わない	1	10%		

5. その他意見等

・各区の運営上の工夫事例にある如く、その工夫事例を参考にしていきたい。 ・区政会議に出席された委員さんには、時間がかかりますが、簡単に日頃思うこと、願うことを手短かに話をしていただければ良いと思います。 ・若い人の参加が欲しい。 ・一度にすべてを片付けようとしないで、何回かに分けて部会を持つ余裕が必要なのでは。 ・区政会議委員の選出方法。委員になりたい人はなかなかいない。意見を述べても検討してもらえないと止めた人もいました。
--

区政会議に関するアンケート集計結果（福島区区政会議 保健福祉・総務部会）

1. 福島区区政会議 保健福祉・総務部会は、現在、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされているか。

選択肢	回答数	回答率	有効回答数	11
ア. 思う	2	18%		
イ. やや思う	6	55%	肯定的意見 割合	73%
ウ. あまり思わない	2	18%		
エ. 思わない	1	9%		

2. 3. 区政会議のより活発な意見交換に向けた課題と、改善のための取組や工夫

有効回答数	11
-------	----

選択肢（課題）	回答数	回答率 （複数回答可のため、割合の総合計は100%を超えます。）	取組・工夫（改善策）
ア 会議前に、十分資料を読み込む時間がない。	4	36%	
イ 資料が多すぎる、または分かりにくい。	4	36%	・全体的な数値報告だけではなく、具体的な取り組み内容も資料として提供していただけたら、広く理解が深まると思います。（いつ、どこで、何を、当事者の声など…）
ウ 意見を述べるために前提となる区の現状や行政のしくみ等についての知識が不足している。	8	73%	・議題に上がるテーマ・取り組みがなぜ必要なのかの背景が分からない方もおられるのではないのでしょうか。
エ 会議中に発言できる機会や時間が少ない。	1	9%	・全体会議よりも発言しやすい雰囲気です。 ・もっとコミュニケーションをとってみては。忘年会とか飲み会の場だったら、溶け込みができて、率直な意見が出ると思います。（会費制にして）いつも行われている場では、固すぎてとても話しにくいです。もっと、2回開催するのでしたら、1回増やしてティータイム時間を取ったらどうでしょうか。
オ 特定の人だけが発言している。	1	9%	・部会をもう少し細分化し（5～6名）、それぞれのグループで課題を討議し、それを部会としてまとめるのはどうか。少人数で課題を見つけ、フリー討論の方が意見を出し易いのでは。部会としての全体会で、それらをまとめる。
カ 意見交換を行いやすい配席になっていない。	1	9%	・座席をみんなの顔が見えるようにしてみる。
キ 区役所側の説明が長く、意見交換をする時間が短い。	1	9%	

ク 区政会議の開催回数が少ない。	1	9%	
ケ 意見を述べても、区役所側から明確な回答が期待できない。	1	9%	
コ 意見を述べても、それがどう取り扱われているかが分かりにくく、区政に参画しているという実感が持てない。	4	36%	・意見へのフィードバック。
サ その他 委員が区政会議にふさわしくない発言をするのは困る。行政にもできることとできないことがあることや、区民も協力しないとできないこと等があることを事前に説明しておく方が良い。	1	9%	・委員としての心構え等を委員に説明した上で会議をした方が良い。

4. 区政会議において、意見や要望、評価について、適切にフィードバックがおこなわれているか。

選択肢	回答数	回答率	有効回答数	10
ア. 思う	1	10%		
イ. やや思う	6	60%	肯定的意見 割合	70%
ウ. あまり思わない	2	20%		
エ. 思わない	1	10%		

5. その他意見等

・何も問題がなければ、イエスマンの集まりで良いと思いますが、現状はそうでないと思います。もっといろいろな立場の人が参加すること、活発な意見を出すことが大事かと思います。 ・自動の車イスの事故が増えています。当てられた人は、身体の不自由な人に文句も言えず、いつも我慢しているようです。交通ルールを皆様に知らせてください。 ・私は部会に参加してませんので分かりません。もっと分かりやすく一つひとつビジョンを取り上げてみてはどうですか。話し合い結果報告を身近な出来事を・・・問題がたくさんありすぎて。
--